

メキシコ・米国へ渡航される方へ 感染症の予防のお知らせ

現在、メキシコにおいて、**インフルエンザ様の症状を示す、比較的重い呼吸器疾患**が流行しています。渡航する方はその是非について検討して下さい。

なお、米国（カリフォルニア州、テキサス州）においても、豚インフルエンザウイルス（H1N1亜型）の感染例が報告されていますので今後の情報にご注意下さい。

<渡航時には>

- **咳やくしゃみ等による感染を防ぐため、マスクを着用する。**
- **積極的に手洗いやうがいを行う。**
- **発熱や咳などインフルエンザ様の症状がみられた時は、現地の医療機関を受診する。**

<帰国時には>

- **発熱や咳などインフルエンザ様の症状がみられる方は、検疫所へご相談ください。**

◎流行している疾患の特徴

- ・WHOからの情報によると、メキシコにおいて3月18日から4月23日までの間に、59例の死亡例を含む854例のインフルエンザ様症状のある患者が発生したとのこと。
- ・症状は、発熱、倦怠感のほか、咳、鼻汁、咽頭痛などの呼吸器症状などとされています。



平成21年4月25日 厚生労働省HPより

●メキシコ・米国等へ渡航予定がある方は、必ず保健管理センターにご相談ください。